

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	日高市	代表者名	日高市長 谷ヶ崎 照雄
担当者部署	総合政策部	連絡先電話番号	042-989-2111
担当者役職	主幹	担当者氏名	秋葉 基樹
		連絡先E-mail	
住所	350-1292 埼玉県日高市南平沢1020		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	三木 浩平
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	職員に標準仕様についての重要性を認識させるため、システム標準化、ガバメントクラウド等の詳細な資料を作成していただいた他、資料についてきめ細やかな解説をしていただいた。また、受講者の質問に真摯に対応していただき、方向性を決める支援をしていただいた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年6月28日	13時20分	14時40分		80
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員(庁内の情報化推進担当者)	15人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	標準仕様についての知識及び意識が希薄なため、職員に重要性を認識させる必要がある。	
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	職員の啓発	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	システムの標準化に伴い、業務プロセスの見直しが必要となることを全庁的に理解させ、システム標準化を進める機運の醸成を目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	自治体情報システムの標準化とガバメントクラウドについての現状について解説していただいた他、職員からの質問に回答していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	関係職員に対し、標準仕様についての知識及び意識を啓発できた他、重要性を認識させることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	なし	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	自治体システム標準化に向け、遅滞なくシステム改修等を実施するほか、標準化に合わせたBPRを実施していく。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

